

# 安心安全な暮らしづくりPT < 防災に関する研究 >

## 3 複数の情報発信の手段確保及び高齢者や外国人等への情報伝達

【幹事：福岡県】

### < 現状・課題 >

行政側は防災行政無線のほかHPや防災メール等による情報発信を行っているが、災害時には十分聞き取れなかったり、高齢者はスマホを持っていないなど、的確な情報が伝わらない場合もある。

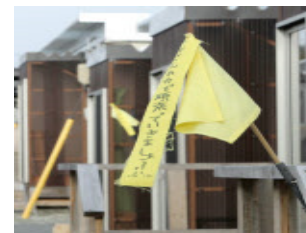
高齢者に普及している情報媒体手段は、テレビとラジオ。Lアラートによる報道機関等を介した情報伝達は、全都道府県で整備済。

訪日外国人旅行者が増加するとともに、外国人労働者受け入れに係る災害情報の伝達に対し、国籍も様々で、対応する言語も複雑多様化している。

様々な情報発信手段が存在しているが、被災者の置かれた状況によっては情報が伝わらない場合がある。

### < 優良事例 / 先進事例 >

黄色い旗による見守り運動(福島県大玉村)  
・起床後に玄関先に黄色い旗を掲げ、午後6時に取り込むという約束の下、近所同士で見守り活動を実施。安否確認や防災への対応にもつながる。



衛星携帯電話の整備補助(福岡県)  
・災害により孤立する恐れのある地域における通信手段の多重化を図る市町村が衛星携帯電話等の設備を整備する導入経費への補助を実施。

郵便ポストにQRコード付きステッカーからの誘導による多言語対応の観光・防災を発信。(沖縄県)



防災アプリ  
・平成31年4月から、多言語対応の「おおいた防災アプリ」の運用を開始。避難情報や気象警報等をプッシュ通知でお知らせ。(大分県)



### < うまくいかなかった事例 >

平成29年九州北部豪雨において、孤立した集落で、停電や中継局の破損等で電話が不通となり、情報発信ができなくなった。  
また、県民等からの問い合わせが防災部局へ集中し、電話対応業務に時間を取られ、災害対応業務の一部に支障をきたした。

熊本地震においては、在留外国人や旅行者が日本語の避難情報等を理解できず、避難が遅れたり、必要な支援を十分に受けることができなかった事例があった。

### < 求められる対応 >

< 行政(県・市町村) >  
情報伝達の多重化の推進。戸別受信機の配備や衛星携帯電話の設備のための支援。

あらゆる人に応じた情報発信手段の活用。

国際担当課や国際交流協会等と連携し、外国人への情報伝達の仕組みづくり(ツイッターやHPの記事の多言語化や災害時に多言語コールセンターの開設など)

< 家庭・地域等 >  
自主防災組織による高齢者等への的確な情報伝達の実施。



## < 課題解決策案 > 孤立するおそれがある地域への通信手段の確保支援

### < 取組内容 >

○災害により孤立するおそれがある地域を有する市町村を個別に訪問し、情報伝達手段の現状を把握する。  
地域の実情に応じ、情報伝達・収集手段の多重化として有効な衛星携帯電話や無線機等の普及促進を図る。  
導入促進にあたっては、緊急防災・減災事業債など国の支援メニューの活用に関しても働きかけを行う。

【参考】福岡県での事業内容

(支援内容) 市町村が、通信手段確保を目的として衛星携帯電話等の設備を整備する導入経費の補助  
維持費・通信費は市町村負担

(対象設備) 衛星携帯電話、MCA無線機、簡易無線機、防災行政無線機 等

(対象地域) 災害により孤立するおそれがある地域

(補助率) 1/2

### < 期待できる成果 >

○発災直後の被災地内での防災情報伝達・収集の信頼性が向上し、適時・適切な救助活動、避難所支援が可能になる。

### < 取組に向けて >

○導入にあたっては、イニシャルコストとともに、運用コストもかかるため、地元の協力も必要となる。

## < 課題解決策案 > 外国人旅行者向け災害時情報提供アプリの導入促進

### < 取組内容 >

各県において外国人向けに発行する啓発物(防災に限らない)に掲載し、「Safety Tips」等のアプリを周知する。

県総合防災訓練に外国人も参加してもらい、訓練実施とともに本アプリなどの啓発も併せて行う。

【参考】Safety Tipsについて

(アプリ概要)

・平成26年10月から提供開始された観光庁監修の外国人旅行者向け災害時情報提供アプリ  
・日本国内における緊急地震速報、津波警報、気象特別警報等をプッシュ型で通知できる他、周囲の状況に照らした避難行動を示した対応フローチャートや周りの人から情報を取るためのコミュニケーションカード、災害時に必要な情報を収集できるリンク集等を提供

(対応言語) 11ヶ国語12言語

・英語、中国語(簡体字/繁体字)、韓国語、日本語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タイ語、インドネシア語、タガログ語、ネパール語



出典: 観光庁HP

### < 期待できる成果 >

外国人旅行者があらかじめ多言語で情報提供している情報源を知っていれば、効率的に情報収集を行うことが可能となる。  
○また、現在、世界的にスマートフォンが普及していることを考慮すると、情報源として、アプリの導入促進を行うことはより効果的である。

### < 取組に向けて >

県関係課(観光部局や国際部局)の他に、外国人旅行者が利用する施設などの協力を得て進める。